

目白学園新宿キャンパス 8号館「百年館」完成

目白学園が東京都新宿区で進めていた目白学園新宿キャンパス8号館(百年館)建設工事が完了した。同学園は2023年に創立100周年を迎え、記念事業の一つとして8号館の設置を計画した。同施設はラーニングラウンジやフリーボードなど、学生同士交流を創出する場所と設備を随所に設け、渡り廊下を数カ所配置し、既存校舎同士の動線も確保した。施設の完成で同学園は、社会で活躍する人材の育成に一層の弾みをつける狙いだ。



施主インタビュー



目白大学 学長
沢崎 達夫氏

—8号館移転新築の経緯は。
「1960年に設置され、2000年に廃止された目白学園幼稚園の園舎を8号館として利用していました。しかし、狭隘(きょうあい)なことや老朽化、耐震基準に不適合であるなどの課題をはらんでいました。2023年に学園創立100周年を迎えることから、その記念事業の一環として、8号館の移転新築に至りました」

—施設の特長は。
「8号館は地下2階地上5階建てで、既存校舎の1号館・10号館と地下1階、地上1階・3階とでつなぎ、学内の回遊性向上を図ります。1階・3階には、フリーボードなどを使用した自主学習やプレゼンテーションを促すラーニングラウンジを配置しています。4階・5階は研究室が並ぶ廊下を幅広くしてオープンスペースとし、学部学科を超えた交流と対話を創出します。廊下と講義室はガラスの間仕切りでつながれ、明るさと開放感で学習意欲と参加意識を高めるつくりとなっています。外装には既存建物と同じような茶色や焦げ茶や黒などのモノトーン色を採用し、周辺に溶け込むデザインとしています」

—完成に当たっての思いは。
「本学は社会に貢献できる人材を育てて世に送り出すことを使命としています。8号館を含む100周年の記念事業の完了で、その使命達成に一段と弾みがつくと考えます。これからも学生たちの学びを深く充実したものとできるように、大学教職員一丸となってまい進していきます」。

「育てて送り出す」大学の使命達成の弾みに

創立100年に向けた施設整備



建築主/目白学園 設計・監理/相和技術研究所 施工/北野建設

施工のポイント

キャンパス敷地の中心部での施工となるため、学生など第三者の安全確保を第一に作業を進めました。また、作業員には、常に他者に見られていることを意識して、服装や規律に配慮するよう伝えました。

本工事最大のポイントは工程の管理です。工事場所は既存建物に囲まれており、搬入路は狭隘で、施工図面と照合した結果、解決しなければいけない課題が数多くありました。10以上の地下掘削、鉄骨・PCa(プレキャスト)を含めた重量物の揚重、第三者の安全確保など、駆体工事で、しかも計画ミスがあれば取り返しがつきません。そこで、搬入口の作り方、重機のサイズ、揚重方法、鉄骨とPCaの施工手順を細かく工程表に書き込

完成までの最善な「物語」を作成

み、建物完成までの最善・最速の「物語」を作成しました。工程短縮のための具体的な策として、バルコニーにPCa工法を採用しました。諸課題を解決しながら、わたしの物語を完了し、無事故無災害で高品質な建物を引き渡すことができました。これも一重に、目白学園と相和技術研究所様の迅速な対応、ご支援、ご理解のたまものと感謝しております。百年館という、目白学園の歴史でも重要な建物に携われたこと光栄に思います。この施設がよいできごとを呼び、新しい物語を築いていくことを心から願っております。

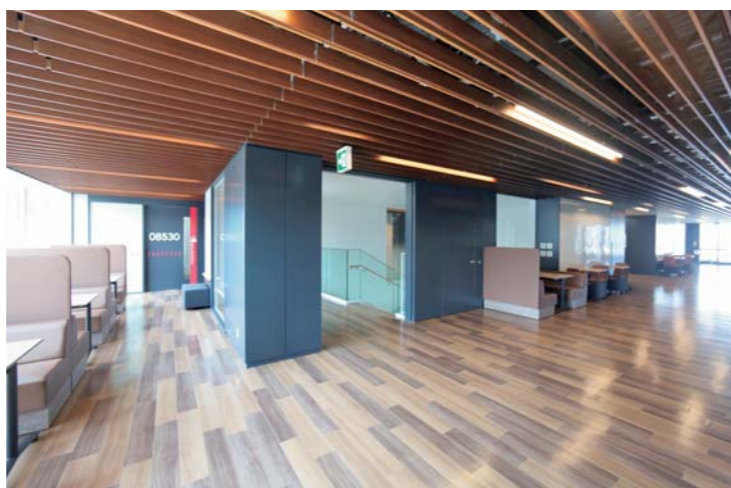
北野建設株式会社
目白学園新宿キャンパス新校舎棟新築工事
浅倉 竜一



渡り廊下



ラーニングラウンジ



廊下



中教室

設計コンセプト

この建物は目白学園創立100周年へ向けて、新たな学びの場をつくるプロポーザルによって、計画が始まりました。

計画建物の位置は、新宿キャンパスのほぼ中央で、既存の校舎に囲まれた場所となっています。計画建物は、それらの既存校舎へは地下1階と1階、3階とで繋ぎ、大学全体の人の動きを活性化させる役目を持っています。

地下2階から地上3階は、最大240人収容できる大講義室や、用途に応じて使い分けしやすい約30人から100人用の様々な広さの講義室を計画しています。

1階、2階、3階の講義室エリアの一角に、コミュニケーションの活性化により、アクティブラーニング(能動的学習)を促すラーニングラウンジを配置していることが特徴です。

4階、5階の研究室が並ぶ廊下をオープンスペースとして活用し、他分野との交流による出会いで対話を生み出し、研究の場を活性化させる仕掛けを創っています。

この建物が、永く、学生たちの学びと憩いの場となることを期待しています

株式会社 相和技術研究所 設計本部 東 謙司

学生の輝きを映すガラスの学びや

工事概要

- 建物名: 目白学園新宿キャンパス8号館(百年館)
- 工事場所: 東京都新宿区中落合4-31-1
- 建築主: 学校法人目白学園
- 設計・監理: 株式会社相和技術研究所
- 施工: 北野建設株式会社
- 構造: S造一部RC造
- 規模: 地下2階地上5階
- 建築面積: 921.54㎡
- 延床面積: 4,974.41㎡
- 工期: 2018年5月30日～2020年1月31日

施工

北野建設株式会社

東京本社

東京都中央区銀座1-9-2 電話 03(3562)2331

電気設備工事



中央電気工事株式会社 東京支社

東京都新宿区新宿5-7-17 電話 03(3341)0193

管工事



経塚工業株式会社

東京都豊島区巢鴨1-41-11 電話 03(6902)5055

塗装工事	株式会社 アイビー 21 東京都千代田区神田神保町1-20 電話 03(3293)4802
ウッドデッキ工事	明石木材株式会社 東京都江東区東陽5-29-39 電話 03(3649)5021
トイレブース工事	アルード株式会社 東京都津島市白浜町字平塚77-1 電話 0567(33)0055
植栽工事	株式会社 岩城 東京都世田谷区深沢8-7-13 電話 03(3703)0081
金属工事	株式会社 大井 東京都大田区矢口2-27-5 電話 03(5741)8255
耐火塗装工事	化工機商事株式会社 川崎市川崎区大川町2-1 電話 044(329)4460
金属工事	株式会社 カネダン 東京都台東区東上野2-11-6 電話 03(3834)5121

鉄筋工事	共英産業株式会社 関東支社 東京都江戸川区東葛西6-21-1 電話 03(5675)3491
型枠工事	株式会社 楠工務店 東京都杉並区和泉4-16-15 電話 03(3322)7541
鉄骨階段工事	株式会社 群鐵 群馬県前橋市碓氷町116-3 電話 027(283)6018
パーティション・軽量建具工事	小松ウオール工業株式会社 東京都千代田区三番町8-1 電話 03(3263)2351
左官工事	株式会社 ジャスト・アンダー 埼玉県戸田市目北町10-18 電話 048(449)0681
内装仕上工事	杉山産業株式会社 川崎市川崎区員塚1-15-3 電話 044(222)2696

金属工事	墨田建築工業株式会社 東京都足立区千住関屋町12-8 電話 03(3888)5601
PCa工事	株式会社 大協建設 千葉県四街道市吉岡403-3 電話 043(433)8720
クレーン揚重工事	千代田重機工事株式会社 東京都葛飾区高砂1-4-5 電話 03(3692)5241
木製家具工事	帝国器材株式会社 東京都足立区江北2-4-27 電話 03(3890)2194
黒板工事	株式会社 東京黒板製作所 東京都板橋区熊野町11-7 電話 03(3959)1551
ブラインド工事	東京ブラインド工業株式会社 東京都港区白金3-9-15 電話 03(3443)7771

アルミニウム製建具工事	野原産業エンジニアリング株式会社 東京都新宿区新宿1-1-11 電話 03(3357)3141
ガラス入耐火間仕切壁工事	パイロシステム株式会社 東京都中央区日本橋横山町5-2 電話 03(5651)4545
木工事	晴海建設株式会社 東京都江東区新木場1-6-19 電話 03(3522)6775
タイル工事	不二窯業株式会社 東京都中央区新富2-14-5 電話 03(3551)7255
土工・コンクリート・仮設工事	安井土木株式会社 東京都中野区南台3-3-2 電話 03(3384)5195
防水工事	瀝青建材株式会社 東京都千代田区神田佐久間町2-4 電話 03(3861)2706
押出成形セメント板工事	ワールド産業株式会社 東京都杉並区梅里2-40-19 電話 03(3313)7221